

令和8年6月9日

第 **43** 号

県中農林ニュース



ふねひきまち 田村市船引町
かたそねやま 片曾根山

特集 新任幹部職員紹介 p.2~5

農林関係の動き p.6~13

お知らせ p.14

特集

新任幹部職員紹介

今年度、新たに就任した
幹部職員 9 名を紹介いたします

所長

すずき しゅういちろう
鈴木 秀一郎

前所属
農村基盤整備課



このたび、県中農林事務所長に着任しました鈴木秀一郎と申します。

県中管内は、米や野菜、果樹、畜産など多彩な農林業が営まれ、豊かな自然や地域資源に恵まれた魅力あふれる地域です。また、県の農業産出額の約4分の1を占める本県有数の食料供給基地でもあります。私自身、各地を訪れる中で、生産者の皆様の熱意や地域の活力を日々感じております。

県中農林事務所では、多様な担い手の確保・育成、消費者から選ばれる産地づくりの推進、農業生産基盤の整備などを通じて、この地域の強みを次世代へしっかり引き継ぎ、持続可能な農山村づくりに取り組んでまいります。

今後とも、地域の皆様とのつながりを大切にしながら、職員一同取り組んでまいりますので、よろしく願いいたします。

県中農林事務所次長兼総務部長に着任しました伊藤真子です。県中地方での勤務は初めてになります。

県中管内を歩きますと、南北の阿武隈川、東に阿武隈高地、西の猪苗代湖など変化に富む地形で改めて広いと感じます。このような県中地方で栽培される作物は、多様な種類があり、地形や気候の違いもあっていずれも美味しい。こんなに美味しいものは、国内外の皆さんにもっと食べて知ってほしい、その担い手の皆さんのことも知ってほしいと思っております。

県中地方の農林業の振興に少しでもお役に立てるよう取り組んでまいりますので、よろしく願いします。

次長兼総務部長

いとう まさこ
伊藤 真子

前所属
出納局 出納総務課



企画部長

にった こうさく
新田 耕作

前所属
農業総合センター
企画経営部



この4月に、企画部長兼地域農林企画課長に着任いたしました新田耕作です。

県中農林事務所は、初めての勤務となり、とても楽しみです。まずは、現地を数多く訪問し、県中地方の多彩な魅力を感じたいと思っています。

企画部では、農振法・農地法を所管する『農地の番人』という立場のほか、農村地域の活性化や農産物のPR、食育の推進、情報発信など農と食に関する幅広い業務を担当しています。

県中地方の「農林業・農山村の発展」と「農家所得の向上」に向け、職員一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

農業振興普及部副部長に着任しました朽木靖之と申します。

県中農林事務所勤務は8年ぶり2度目となります。当時は水稻採種ほやスマート農業技術などの担当として、地域の皆様に大変お世話になったことを思い出します。

この豊かな自然と多様な品目に恵まれた県中地方におきまして、多様な担い手を育む「ひとづくり」、産地体制の強化を図る「ものづくり」、魅力ある農村社会の形成を目指す「地域づくり」に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

農業振興普及部 副部長

くちき やすゆき
朽木 靖之

前所属
水田畑作課



農村整備部 副部長

なかむら ひでのり
中村 英則

前所属
農村計画課



このたび、農村整備部副部長に着任いたしました中村英則です。

県中農林事務所での勤務は初めてですが、県内7地域で最も人口・農家数が多い県中地方において、農業・農村の振興に携われることを光栄に思います。

今年、「150」（福島県政150周年）、「28」（28年連続で人口減少）、「15」（震災から15年経過）の3つの数字を意識しながら、関係機関や地元の皆様とともに、「もうかる」農業の実現に向けて微力ながら精一杯業務に取り組んでまいりますので、どうぞよろしく願いいたします。

森林林業部長

ななうみ ひろあき
七海 弘明

前所属

県南農林事務所 森林林業部



4月に県中農林事務所森林林業部長に着任しました七海弘明です。

出身地は三春町で、県中農林事務所の勤務は平成18年度からの3年間以来、二度目となります。当時は企画部門にて農林水産業振興計画業務等を担当し、市町村担当者及び生産者の皆様のご協力を得ながら業務を進めた経験は、今でも良い思い出となっています。

これからは、今年度スタートする第3期復興・創生期間内で森林再生が計画的に進捗するように、市町村と連携しながら事業を進めるとともに、同じく今年度、福島県森林環境税から「ふくしま森林（もり）づくり県民税」に名称を変えて、皆様からお納めいただきます税金を財源とした森林整備事業により再造林を進め、森林資源の循環利用を進めてまいります。さらには、違法な森林開発を防ぐために、林地開発許可制度の適正な運用と職員による巡視活動を行ってまいります。

このたび田村農業普及所次長兼地域農業推進課長に着任いたしました鎌田芳子です。

初めての勤務地となりますが、4月当初の桜色に彩られた景色、そして日々緑が濃くなる阿武隈山系の美しさに魅入られました。このような田村地域の豊かな自然環境の中で営まれるピーマン等の夏秋野菜や畜産などの特色ある農業が、地域の暮らしや景観を支える大切な基盤となっていることを日々実感しています。

田村地域ならではの良さを生かした農業振興に、地域の皆さまとお話を重ね、力を合わせて、取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

田村農業普及所 次長

かまた よしこ
鎌田 芳子

前所属

県北農林事務所 農業振興普及部



須賀川農業普及所長

やまだ ひでお
山田 英雄

前所属
県中農林事務所 農業振興普及部



4月より、須賀川農業普及所次長兼地域農業推進課長に着任しました角田明子です。

当管内は、水稻を中心に、きゅうりなどの施設園芸、果樹・畜産も盛んな、活気ある農業地帯であり、生産から販売まで手掛けるバイタリティあふれる経営を展開している生産者が多いと感じております。

魅力ある産地づくりや、もうかる農業の実現に向けて、農業者の皆さんの課題解決や経営の安定・向上に少しでも力になれるよう、現場の声を大切にしながら、取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

須賀川農業普及所長に着任いたしました山田英雄です。

県中農林事務所は通算5回目と非常に縁のある職場ですが、須賀川普及所は初めての勤務となります。

管内である須賀川岩瀬地域、石川地域は県内の農業産出額の1割以上を占め、全国有数のきゅうり産地ですが、その他園芸作物や米づくり、畜産についてもそれぞれの気候風土を生かした特色ある農業に取り組まれています。

このような地域性を生かした魅力ある農業を次代に繋いでいくためにも、皆さまとともに「ひと・もの・地域づくり」の視点に立った活動を展開してまいりますので、よろしく願いいたします。

須賀川農業普及所次長

つのだ あきこ
角田 明子

前所属
県南農林事務所 農業振興普及部



森林林業部

令和7年度林業研究グループ等活動発表会が 開催されました

1月30日（金）、令和7年度林業研究グループ等活動発表会が林業研究センターで開催され、県内7方部の団体から特色ある活動について発表がありました。

県中管内からは古殿町の^{しんりん}新林研究部の^{みずのけんすけ}水野研介さんが「マタタビ栽培の実践と普及に向けて」と題して、マタタビの栽培活動について発表しました。キャットフードメーカーか



【発表する水野研介さん】

らの依頼により自生するマタタビの^{ちゅう}虫えい果を採取していましたが、効率よく採取するために、仲間を増やしながら栽培にチャレンジしている点が評価され、最優秀賞に輝くとともに、令和8年度の北海道・東北ブロック林業グループコンクールへの福島県代表に選ばれました。新林研究部の更なる御活躍が期待されます。

農業振興普及部

令和7年度福島県農業普及指導活動成果発表会が 開催されました

2月3日（火）、農業総合センターにおいて令和7年度福島県農業普及指導活動成果発表会が開催されました。農業振興普及部からは、「農地を守れ！イチジク栽培大作戦～遊休農地化を防ぐために～」と題し^{まつおか}松岡技師が発表を行いました。

郡山市では葉たばこ廃作後の遊休農地増加を防ぐため、イチジクの作付けが推進されています。関係機関と連携した支援を継続した結果、現在、作付面積は10haまで拡大しており、今後のさらなる作付拡大や出荷量の増加が期待されます。農業振興普及部では、定期的な栽培指導会等を継続し、産地の発展を支援してまいります。



【松岡技師による発表】

田村農業普及所

「ピーマンならではのプラン」産地ワーキンググループ を開催しました

2月9日（月）、令和7年度第2回「JA福島さくら・ピーマンならではのプラン」産地ワーキンググループを開催しました。当該産地のピーマンは、市場関係者より品質面での高い評価を受け、出荷量確保に強い要望を受けております。そこで、出荷量の安定確保、産地評価の維持、産地競争力の強化を図るプランの実現に向けたJA、市町村、農林事務所



【産地ワーキンググループの様子】

による今年度の取組実績を共有しました。特に、JAによるパッケージデザインの検討やトレーニングファームの設置計画、田村農業普及所によるグリーンな栽培体系検証の取組などを共有し、次年度以降の連携と取組継続を確認しました。

田村農業普及所

たむら農業人サポート協議会・ プロジェクト協議会総会が開催されました

2月24日（火）、たむら農業人サポート協議会・プロジェクト協議会総会が開催されました。総会では、令和7年度の活動報告を行うとともに、新規就農者支援体制の充実に向けた見直しを実施しました。本協議会は、県、市町、農業協同組合および地域の担い手農業者で構成され、就農相談会や農業研修、就農後の営農支援を行っています。農業にご関心のある皆様、ぜひ田村地域で新たな一歩を踏み出してみませんか。

【たむら農業人サポート協議会・

プロジェクト協議会発行の新規就農者向けパンフレット】



田村農業普及所

新規就農者激励会が開催されました

2月27日（金）、田村地方農業士協議会主催で令和7年度新規就農者激励会が開催されました。多くの御来賓と指導農業士の皆様が参加し、田村市から2名、三春町から2名の新規就農者を激励しました。御来賓の方々から地域農業の発展への期待と歓迎の言葉が



伝えられ、新規就農者の方々からは、農業を始めた経緯や将来の抱負が語られました。参加した先輩農家と新規就農者との懇親も深められ、早くも地域に溶け込む様子が覗えました。

【農業への思いを語る新規就農者】

農村整備部

集落営農先進地事例研修

2月28日（土）、ほ場整備事業を計画する郡山市熱海町石筵の農業者や関係機関を対象に集落営農や高収益作物の導入について、先進地事例研修を行いました。

農地中間管理機構関連農地整備事業に取り組んでいる^{やまだ}いわき市の山田地区と^{かべや}神谷地区を研修し、集落営農に向けた地元合意形成や高収益作物の品種選定のポイントなどについて説明を受け、大きく整備されたほ場でネギやキャベツの栽培状況を見学しました。

参加者からは、同じ課題について話が聞け、今回の研修はとても参考になったとの感想がありました。県中農林事務所では、引き続き関係機関と連携し、ほ場整備事業の実施に向け、支援してまいります。



【高収益作物（ネギ）の栽培状況】



【研修状況】

林業アカデミーふくしま就業前長期研修 令和7年度修了式を執り行いました

林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和7年度第4期生の修了式が、3月6日（金）、^{おきの}沖野農林水産部長ご出席のもと執り行われ、6名の研修生がそれぞれの志望した事業体、森林組合に就業しました。

^{さとうなおや}修了生代表の佐藤尚也さんより答辞があり、「福島のエ業に貢献できるよう励んで参ります」と決意を新たにされた様子でした。

アカデミーを修了した研修生の皆さんは、今後、福島県の林業の中核を担う存在として活躍することが期待されます。



【佐藤尚也さんによる答辞】



【第4期生6名が研修を修了しました】

令和8年度県中地方防霜対策本部を設置しました

県中農林事務所では、農作物の凍霜害を未然に防止するため、3月19日（木）から5月31日（日）までに県中地方防霜対策本部を設置し、関係機関と連携して気象情報の迅速な収集と伝達、凍霜害防止に向けた技術対策の啓発を行いました。

防霜対策期間は常に気象情報に注意を払い、凍霜害発生が予測される場合は燃焼資材等による対策を実施した結果、被害の発生は見られませんでした。

【県中地方防霜対策本部看板設置の様子

（左から志賀部長、廣田前所長）】



今年度も露地きゅうり栽培の経験が浅い生産者を対象に「きゅうり基礎力アップ研修会」を開催しています。第1回目は3月18日（水）、第2回は4月16日（木）に須賀川農業普及所会議室で開催しました。約15名が参加し、きゅうり栽培の基礎を学びました。

生産者からは「基本の栽培技術についてシーズン前に知れて良かった」、「グループワークがとても良かった。日頃の悩みを教えてもらえた」等の感想がありました。興味のある方は是非ご連絡ください！

| | 日時 | 内容 |
|-----|-----------------------------|---------------------------|
| 第3回 | 令和8年6月17日（水） 13:30～14:30 | 収穫開始の頃の管理について （現地研修） |
| 第4回 | 7月23日（木） 13:30～14:30 | 収穫盛期の管理について （現地研修） |
| 第5回 | 9月10日（木） 13:30～15:30 | 土づくりについて （講義・現地研修） |
| 第6回 | 12月10日（木） 13:30～15:30 | 今作の反省会 （講義） |
| 第7回 | 令和9年1月22日（金） 13:30～15:30 | 土壌分析結果を活用した施肥設計演習 （講義） |



【第1回きゅうり基礎力アップ研修会の様子】

森林林業部

森林保全巡視員辞令交付式・ 県中地方森林パトロール協議会

4月1日（水）、県中農林事務所管内の保安林や県行造林地の巡視業務を担う5名に所長から辞令を交付しました。

辞令交付後は令和8年度県中地方森林パトロール協議会を開催し、巡視活動における留意事項の伝達や情報交換を行いました。その中で、近年多発している山火事に対して入山者などに対する防止の普及啓発のお願いや、巡視時での熊対策や遭遇状況について情報共有を図りました。

県では巡視員の方々の1年間を通した巡視活動の結果をもとに、保安林・県行造林地における林木の生育状況確認や林地崩壊等の早期発見、適正な保全管理に取り組んでまいります。



【農林事務所長より辞令交付】



【パトロール協議会で情報交換】

林業研究センター

林業アカデミーふくしま就業前長期研修 令和8年度入講式を執り行いました

4月6日（月）、林業アカデミーふくしま就業前長期研修令和8年度第5期生の入講式が、鈴木ゆうき優樹県議会農林水産委員長をはじめ、多くの御来賓の方々のご臨席もと執り行われ、12名の研修生が林業の世界に新たな一歩を踏み出しました。

研修生代表誓いの言葉では、久岐伊佐さんから「この恵まれた環境で高い専門性を養い、研修生一同、それぞれの目標に向けて日々研修に励みたい。」と研修生活への決意を表明しました。

研修生はこれから1年間かけて、林業に必要な知識、技術などの習得を目指します。



【研修許可書及び研修貸与品交付】



【5期生12名が入講しました】

田村農業普及所

すいとうかんでんちよくはんさいばい はしゅ 水稲乾田直播栽培の播種実演会を開催しました

省力化技術として注目されている「乾田直播※1」の栽培技術を紹介するため、4月9日（木）に播種※2作業の実演会を開催しました。普及所の担当より、栽培技術の概要を説明後、ヤンマーアグリジャパン（株）より乾田直播栽培で使用する作業機械について紹介し、播種機での播種作業の実演を行いました。出席した農業者からは、播種機の特徴や

除草材散布タイミングなど、多くの質問が出され、直播栽培技術についての理解を深めていました。

田村農業普及所では、引き続き、直播栽培やスマート農業などの省力化技術に関する情報発信を行い、稲作農家を支援していきます。

※1 乾田直播：水を張っていない乾いた田んぼに直接種もみをまく手法

※2 播種：作物の種をまくこと



【実演会の様子】

農業振興普及部

みやこじちく みどり 田村市都路地区に全農美土里ファームが完成しました

4月17日（金）、田村市都路町に完成した全農美土里ファームの竣工式が行われました。この農場は、株式会社美土里耕産が福島県高付加価値産地展開支援事業を活用し、震災・原発事故により大きなダメージを受けた被災地域の畜産業復興のための施設として整備しました。完成した畜舎には乳用牛、肉用牛合わせて約2,650頭が飼養される計画となっており、生乳の生産や被災地域の畜産農家へ肉用牛子牛等の優先供給、地域で生産された飼料の購入と堆肥の供給を通じ、地域農業の復興に貢献することが期待されます。



【全農美土里ファームの全景】



【竣工式】

5月1日（金）と5月8日（金）に、石川町沢田種子生産組合の「コシヒカリ」「ひとめぼれ」、そして酒造好適米の「夢の香」を対象に水稻育苗巡回を実施しました。

巡回では苗の生育状況だけでなく、種子伝染性病害の有無について、確認を行いました。現在は各品種とも順調に生育しており、絶好のスタートを切っています。今後は6月、8月、9月に控えるほ場審査を通じ、さらなる品質管理を徹底していく予定です。石川町沢田種子生産組合や関係機関と一丸となって、良質な種子の安定供給を目指します。



【育苗巡回の様子】

YouTubeで「福島ならではの」の魅力を発信中！

＼チャンネル登録をお願いします！／

福島県農林水産部公式YouTube 「1400のネタばらし」はこちらから
<https://www.youtube.com/channel/UCqP88J0qCub5659DrEfz2sw>



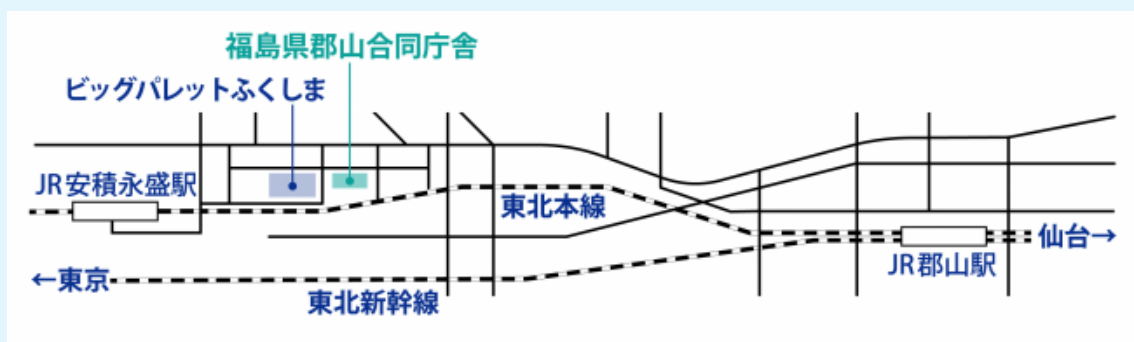
県中農林事務所が作成した「1400のネタばらし」はこちらから
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a/ki-1400.html>



ふくしまを応援する「ベコ太郎」

郡山合同庁舎移転のお知らせ

福島県県中農林事務所は、郡山合同庁舎新庁舎の完成に伴い、下記のとおり移転を予定しております。



移転日 令和8年6月22日(月)

移転先住所 〒963-8540

郡山市南一丁目94番地

福島県郡山合同庁舎(新庁舎)1階

電話番号 024-935-1508 (総務部 総務課)

024-935-1510 (企画部 地域農林企画課)

024-935-1303 (企画部 指導調整課)

024-935-1307 (農業振興普及部 農業振興課)

024-935-1310 (農業振興普及部 地域農業推進課)

024-935-1321 (農業振興普及部 経営支援課)

024-935-1332 (農村整備部 農地計画課)

024-935-1330 (農村整備部 農村整備課)

024-935-1367 (森林林業部 林業課)

024-935-1373 (森林林業部 森林土木課)

※番号は従前から変更ありません。

お問い合わせ【編集・発行】

福島県県中農林事務所 企画部 地域農林企画課

〒963-8540 郡山市麓山一丁目1番1号 TEL 024-935-1510 FAX 024-935-1314

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36220a>